

● CNC P はあなたが参加し楽しく議論し活動する場です ●

シリーズ「土木ということば」 第23回 「社会インフラ」とは

「インフラ」と「社会インフラ」とはどちらが広い意味のことばだろうか。

「インフラ」は「社会資本」や「社会基盤」と言い換えられる。これを Google 翻訳すると、それぞれ “social capital” と “social infrastructure” になる。逆方向に翻訳すると前者は「社会資本」に、後者は「社会インフラ」になる。

本来、“social capital”は社会学における「社会関係資本」であって、日本で「インフラ」を意味する「社会資本」とは異なり、「社会・地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念」である。一方、“social infrastructure”には特に明確な定義はなく、英国圏では、社会保障、公衆衛生、住宅政策、教育政策を含む “social services”に関する施策や施設のことである。

内閣府の平成 25 年度年次経済財政報告第 3 章第 3 節「社会インフラの供給基盤」に「社会インフラの範囲は広く、道路、港湾、空港、上下水道や電気・ガス、医療、消防・警察、行政サービスなど多岐に渡る」とある。英文の概要版は「社会インフラ」を “social infrastructure” と訳しており、これで諸外国に本来の意図が正しく伝わるか大いに疑問である。同様の混乱は、平成 25 年度国土交通白書「はじめに」の注にも引用されていて、白書で「社会インフラ」を「インフラ」よりも広い意味で使っているとしている。

ここに「社会インフラ」が広い意味を示そうとした造語だとして、辞書にないこの新語は既存の語の組合せによる機械的な翻訳で “social infrastructure” になってしまう。多言語で紛れなく伝えるためには注意が必要である。

(土木学会土木広報センター次長 小松 淳)

Vol.71 コンテンツ

巻頭言	グリーンインフラのすすめ	花村 義久	2
コラム	私の市民活動 地域の水に係ること	駒田 智久	3
身近な土木遺産シリーズ第2回	花畑運河は荒川放水路の土木遺産	三井 元子	5
部門活動紹介	土木と市民社会をつなぐ活動	田中 努	8
会員からの投稿	エーヤワディ川堤防天端の道路のアクセス改善	福林 良典	10
サポーターからの投稿	考える研修 やってます	土井 博己	12
CNCP 通信の投稿内容	アーカイブ分析		14
事務局通信			15